

No.	実施内容	実施日	参加人数等	庁舎機能	庁舎規模	公民館機能拡充施設	木もれ陽の里	老人福祉センター	建物・外構等	交通	防災	コスト	スケジュール	事業全般	意見聴取	情報発信	所見
1	区長会(区加入者)への意見聴取	R6.9.4 ～ 11.6	186	35 ・機能集約 ・使いやすさ・分かりやすさ ・ソフト面	14 狭小対応	52 ・諸室等(ホール含む) ・工事中の活動 ・公民館のルール	8 ・現状の課題 ・交通	13 ・施設廃止 ・介護施設 ・入浴施設	50 ・駐車場 ・環境 ・外観 ・高さ・階数 ・外構	17 ・進入路 ・渋滞	12 ・考え方 ・建物の強度	38 ・コスト抑制 ・内容重視 ・財源	11 ・スピード感	60 ・ABC案 ・賛成・応援	18 ・意見の反映 ・意見聴取の頻度	13 ・要望・意見	意見として多かったのは、庁舎機能については機能の集約や住民だけでなく職員の使いやすさに関する意見、庁舎規模については現状の職務スペースが狭いことへの対応の必要性に対する意見、公民館機能拡充施設については気軽に使えるホールを希望する声や工事中の公民館活動の停滞を危惧する声、コストについては抑制すべきとの意見は当然あるが、それよりも内容を重視すべきとの意見であった。 整備方法については、一部でC案を推す声もあったが、総じてB案を推す声が多かった。
2	福祉委員(民生児童委員・主任児童委員・人権擁護委員)への意見聴取	R6.9.12・ 18、10.17	42	5 ・文書の保存、ペーパーレス化、手続きの電子化	0	0	0	0	0	0	0	1 ・起債	0	0	0	0	意見数が多くなかったのは、同時期に行った区長会への意見聴取時に意見をいただいた方も一定数いたのではないかと考察している。 なお、整備方法に言及した意見はなかった。
3	整備方法(ABC案)検討会	R6.10.19	11	3 ・使いやすさ・分かりやすさ	0	2 ・工事中の活動	0	1	7 ・駐車場 ・環境 ・周辺との調和	0	0	1 ・コスト抑制	0	6 ・整備手法(ABC案)	3 ・意見の反映		コストやエネルギー性能などの定量的な要素と使いやすさや快適性などの定性的な要素を理解していただいたうえでの議論を行った結果、整備方法については、B・C案が概ね半数であった。
4	推進委員会委員意見	R6.10.25 ～11/1	23	10 ・使いやすさ・分かりやすさ ・機能集約	0	10 ・施設の考え方 ・工事中の活動	0	1 ・施設廃止	4 ・環境 ・駐車場	2 ・交通弱者対応 ・渋滞	6 ・防災の考え方 ・各区の機能強化	10 ・コスト抑制 ・内容重視	2 ・スピード感	11 ・整備手法(ABC案)	6 ・意見聴取の頻度	1 ・発信の工夫	意見として多かったのは、庁舎については職員の使いやすさと来庁者の利便性に関する意見、公民館機能拡充施設については機能に対する考え方、分館のあり方その他、工事中の活動への配慮に関する意見、コストについては抑制とそうでない意見が相反している。その他、意見聴取の頻度に関する意見が比較的多い。 整備方法については、B案が約68%、C案が約21%(その他絞り切れずが11%)であった。
5	整備方法(ABC案)に関するパブリックコメント	R6.10.23 ～11.8	4	0	0	2 ・施設の考え方 ・整備方法	0	0	2 ・環境 ・駐車場	0	1 ・防災の考え方	2 ・コスト抑制	0	1 ・考え方	0	0	整備方法(ABC案)検討会と違い、定量・定性的な要素の理解を得る場がなく難解だったためか、提出数は少なかった。 意見としては、公民館は建替えるべき(いわゆるB案)とコスト抑制が主なものであった。
6	職員の意見	R6.10.29 ～11.8	-														
7	無作為抽出意見交換会	R6.11.9	46														

